



後藤県政スタート!!

「ダイナミックやまなし」プラチナ社会構想」実現に向けて

2月17日、「ダイナミックやまなし」プラチナ社会構想」の実現を掲げる後藤
知事が就任。県民一人一人が個性・特性を最大限に発揮し、プラチナのように将来に
わたつて輝き続ける地域づくりを目指して、新県政がスタートを切りました。

就任間もない後藤知事に、山梨に対する想い、思い描く山梨の未来、そして県政
運営への意気込みなどについて、聞きました。



就任に当たり、県庁職員に「進取の精神と県民に奉仕するという心構えを持って
仕事に当たってほしい」と訓示



知事に就任した今の気持ちは

たくさんの方々のご支持をいただき知事として山梨のために尽くしたいという想いが実現し、仕事を始めることができました。山梨の発展のために働ける喜びとともに、県民の代表として意思決定をしていく責任の重さというものを痛切に感じています。県民にとってプラスになることを、従来の枠を乗り越えてやっていきたいと思います。

農林水産省時代、そして議員時代山梨をどのように見ていましたか

農林水産省時代にさまざまな事業や施策を検討・研究する際、「ふるさと山梨に照らし合わせてみるとどうだろう」と、常に思いを巡らせていました。

役人時代は東京だけでなく、海外でも暮らしました。一方、議員時代は誰にも負けないほど山梨の隅々まで回り、県民一人一人のお話を伺ってきました。山梨を外から国際的な感覚「鳥の目」で見えてきて、その後山梨のあらゆる地域を歩き、さまざまな現場を「虫の目」で見たことで、それまで気付かなかった良さを発見することができました。

どこに住んでいても、山梨のことを考えていました。それだけ、生まれ育った山梨が好きだということです。

「人口100万人都市 山梨」を掲げていますが

山梨が発展を遂げていくためには、人口の増加が不可欠です。

100万人を実現するのは難しいと感じる方もいらっしゃると思います。しかし、今の時代、目標を持たない自治体経営はあり得ません。共感していただける方を増やしていく、地域も世代も性別も越えた県民の結びつきを強化して、みんなで人口100万人の都市づくりに取り組んでいきたいと強く思っています。

そのためには、山梨が持つたくさんの方の魅力を有機的に連携させていくことが大切です。触媒となってそれぞれをつなぎ、まとめ上げていくのが県の役割。上手に連携し、きらりと光る価値を強手に発信していくことで山梨の魅力はもっと強化できます。そうすれば、山梨に住みたいという方が必ず増えるはずですよ。

山梨の魅力は一言で言えないほどたくさんありますが、あえて一つ挙げるとしたら「東京に近い田舎」だということですね。自然豊かな山梨は、まだまだ伸びていく余地がある、可能性を秘めているということです。特色あふれる地域資源を生かしていけるのです。



一緒にわくわくどきどきするような
躍動感あふれる山梨をつくっていきましょ

知事が目指す山梨の姿は

山梨には経済活動の基盤となる「エネルギー供給力」、地域の魅力の源泉となる「景観・農業力」、県民の暮らしと経済活動を守る「安心・防災力」があります。この3つの力を強化し、安定した雇用と豊かな暮らしが実現された社会、そして、そこに住む県民が夢を持って輝いている社会こそ、私が目指す山梨の未来の姿「ダイナミックやまなし」です。

私には3人の子供がいます。3人とも

生き方も考え方も全く違いますが、それぞれに希望や夢をかなえてほしいと願っています。どの親御さんも同じ思いでしょう。ですから、子どもたちが夢や希望を抱いて、それを実現できる社会をつくっていかねばならないと強く感じています。

大切にしている言葉や想いは

「死しても初心貫くべし」。何をなそうとするとときでもスタートの気持ちを忘れないことが重要です。苦しいときには、この

言葉を思い出して原点に戻ります。

また中学時代の校長先生から頂いた「無限の可能性を信じて」という言葉も大切にしています。誰もがたくさんの可能性を持っています。可能性を信じれば、どんなことにも挑戦していきます。私もこれまで、可能性を信じたからこそ、負けずに挑戦し続けることができました。粘り強く諦めないことが私の良いところ。これから県政を推進していく上で難しい課題にぶつかるともあると思いますが、可能性を信じて挑戦し続けていきます。

県民の皆さんへのメッセージを

「ダイナミックやまなし」の実現はとも大きな目標であり、挑戦です。しかし、県民一人一人が想いを共有し、その力を結集すれば必ず実現できると信じています。私は、初心を忘れずに粘り強く取り組んでいきます。

県民の皆さん、ぜひ建設的な意見をたくさん出してください。力を合わせ一緒にわくわくどきどきするような躍動感あふれる山梨をつくっていきましょ。

知事プロフィール



後藤 斎 Hitoshi Goto

1957年7月22日生まれ

座右の銘

「死しても初心貫くべし」
「無限の可能性を信じて」

尊敬する人

大久保利通、坂本龍馬

趣味

読書、音楽鑑賞、旅行

愛読書

ローマクラブ『成長の限界』
司馬遼太郎『坂の上の雲』

子どもの頃の夢

砂漠を緑にする農業土木技師

生まれ変わったら
なりたいたいもの

躍動感ある時代に生まれ
世界平和に尽くす人に



少年時代
(右側)



ジェトロ・ニューヨーク時代、出張先で

山梨の発展に向け、動き出した後藤県政



知事の椅子に座り、県政への決意を新たにする



2月17日、雪が降る中を初登庁



就任後の記者会見で報道陣に県政運営の方針を説明



2月26日、就任後初の県議会本会議で、所信表明を行った



動画で見てみよう! 後藤知事の初登庁

- ① スマートフォンまたはタブレットに「juniao」のARアプリをダウンロード(無料)
- ② アプリを起動 ③ この写真にかざしてスキャンボタンを押すと動画が始まります。



2月23日、「富士山の日フェスタ山梨2015」で会場の皆さんと「ふじの山」を斉唱。富士山を守り伝える想いを共有した

【問い合わせ先】 秘書課 TEL 055-223-1301 FAX 055-223-1303

山梨 知事の部屋

検索